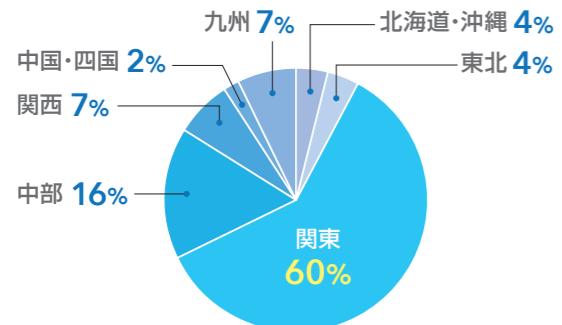


若手職員アンケート

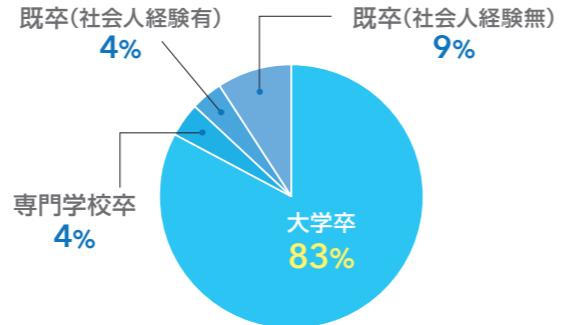
入省8年目までの若手職員から入省前の経験や、入省後の生活、働き方など様々なことを聞いてみました!!



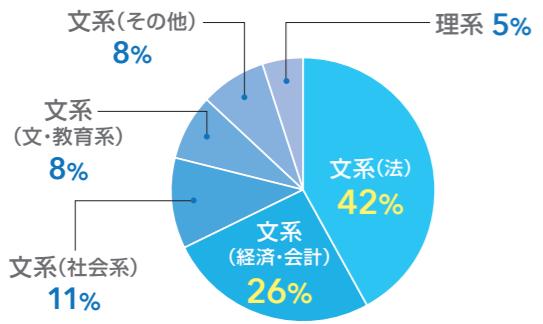
Q1 出身地はどこですか？



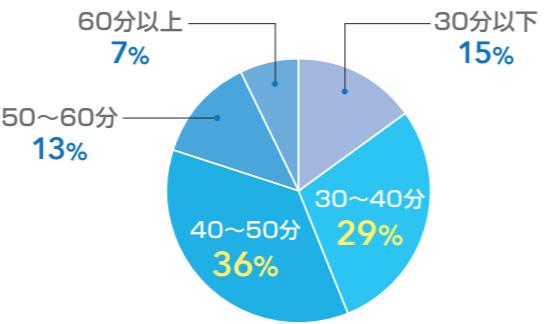
Q2 採用時の経験は？



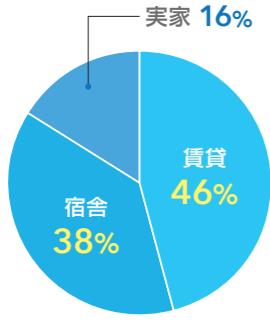
Q3 大学で何を学んでいましたか？



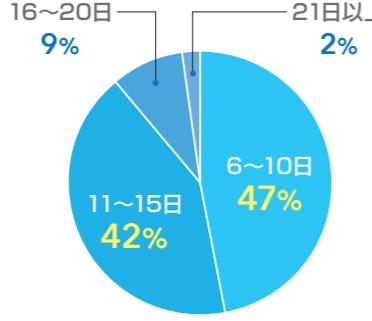
Q4 毎日の通勤時間はどのくらいですか？



Q5 現在の居住形態は？



Q6 有給取得日数について



Q7 退庁時間は何時ごろですか？

	1位	2位	3位
通常期	19:00	20:00	18:15
繁忙期	24:00	21:00	23:30
閑散期	18:15	19:00	18:45

財務省本省一般職の

これまでの採用実績

国家公務員一般職試験(大卒程度)合格者からの採用者数は、令和3年度には9名、令和4年度には12名となっております。過去5年間の採用者状況は右表のとおりです。

	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般職(大卒程度)採用者	12	7	5	9	12
うち女性数	4	3	3	6	6

採用担当者からのメッセージ

「人材」に対して求めているもの

財務省の業務は、予算編成、税制の企画立案、関税交渉、国の資産・債務管理、為替・国際金融市場の安定など、いずれも国の根幹に関わるものであり、職員が立ち向かう課題は多岐にわたります。様々な課題に立ち向かい、広く社会の持続可能性を追求し、適正・公平な行政を行っていくために最も必要なものは、強い権限でも多くの情報でもなく「人材」であり、これまで以上に、多種多様な知識や経験を持つ職員を必要としています。

その「人材」に対して、第一に求めているものは、業務をしていくうえで必要となる様々な知識や経験を活かすための土台となる、コミュニケーション能力です。ここでのコミュニケーション能力とは、明るく元気に会話ができるということではなく、自分の頭で考え、かつ、それを自分の言葉でしっかりと伝えることができること、と考えています。

個性・才能のある皆さんとの出会い

このパンフレットの作成にあたっては、財務省が担う幅広い業務や、職員の人柄について、皆さんにできるだけ分かりやすく理解していただけるよう、工夫して作成したつもりです。

とはいって、このパンフレットに掲載した内容だけでは、職員一人ひとりが様々な課題に向き合っている姿を、理解してもらうことは勿論困難です。ぜひ、財務省職員と直接お話しいただき、様々な課題に対して、どのように仕事をしているか、直に聞いてみてください。職員の生の声は、きっと皆さんの中に何かを残せるはずです。

様々な課題がある一方、公務という場において、国民一人ひとりのために仕事をするということは、前向きに取り組む志があれば、やりがいを多く得ることができます。私たち採用担当者一同、ぜひ、個性豊かな皆さんと出会えることを楽しみにしています。

